

報告・承認事項

2022年度 事業報告書

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

一般社団法人交通環境整備ネットワークの14期目となった2022年度は、「鉄道開業150周年」という記念すべき年であるとともに、引き続き新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響が続く一年となり、人々の自由な移動とそれを支える交通環境の整備を目指す当法人の活動にとては、試練の年でもありました。

国においては、2022年7月に有識者による「地域の将来と利用者の視点に立ったローカル鉄道の在り方に関する提言」を受けて、様々な施策が展開されようとしています。

その中において、地域鉄道フォーラム「鉄道を書く」を人数制限のもとで開催を行うとともに、交通環境全般の調査研究を進めると共に、鉄道写真詩コンテストの開催、環境活動フェスへの出展等を行いました。

詳細については以下のとおりです。

1. 交通環境の調査研究

鉄道、バス等交通環境の現状に関する諸情報を収集するとともに、調査研究等を2022年11月発行の会報『地域交通を考える』第14号において公表しました。

本号は、「鉄道150年の変遷と明日の鉄道」を特集としました。

『地域交通を考える』第14号の内容

【巻頭言】

「鉄道開業150周年に寄せて」 伊藤嘉道 (株式会社交通新聞社 代表取締役社長)

【特集「鉄道150年の変遷と明日の鉄道】

「九州の鉄道150年のあゆみとこれから」 下村仁士 (元尚絅大学文化言語学部非常勤講師)

「鉄道の法体系150年の変遷」 小島好己 (翠光法律事務所 弁護士)

「鉄道運賃制度150年の変遷」 原 潔 (一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事)

「鉄道運賃の半世紀」 平田一彦 (一般社団法人交通環境整備ネットワーク審議役)

【論考】

「地域鉄道の定期券」 入江 聰 (一般社団法人交通環境整備ネットワーク 監事)

「複数のバス事業者を有する前橋市の交通課題と取組み」 前橋市未来創造部交通政策課地域交通推進室

「鉄道と文学の関わり」 塩島 翔 (上毛電鉄友の会副代表・二松学舎大学文学部非常勤講師)

「DMVの今後の展望」 堀内重人 (運輸評論家)

【隨想】

「新津行きビザ～子どもは将来のお得意さん～」 横山光政 (株式会社小田原機器)

【連載：鉄道法律相談】

「痴漢で解雇された鉄道員の退職金」 小島好己 (翠光法律事務所弁護士)

【講演録】

地域鉄道フォーラム2022「鉄道を書く」

【作品鑑賞】

鉄道写真詩コンテスト2022

2. 交通環境の整備及びその活動に対する支援協力

(1) 主催活動

①地域鉄道フォーラム2022「鉄道を書く」(国土交通省鉄道局後援)の開催

期 日：2022年(令和4年)6月11日(土)13:00～15:10

場 所：東武博物館ホール

参加人員：63名

プログラム

1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 田口芳郎氏

2. 基調報告 「種村直樹汽車旅文庫の開設」 津軽鉄道株式会社 顧問 濵谷房子氏

3. 基調講演 「鉄道を書く」 作家・エッセイスト 茶木 環氏

4. トークセッション「鉄道の書き方、書かれ方」

コーディネーター／作家・エッセイスト 茶木 環氏

鉄道フォトライター 矢野直美氏
 東武鉄道株式会社執行役員広報部長 高月京子氏
 鉄道ジャーナル 副編集長 鶴 通孝氏

②鉄道写真詩コンテスト 2022 (国土交通省鉄道局後援) の開催

1. 作品募集 2022年7月1日～9月30日

2. 応募総数 179作品

3. 審査委員

上原 淳 (国土交通省鉄道局長)

大場喜幸 (鉄道博物館館長)

米屋こうじ (鉄道写真家)

水無田気流 (詩人・社会学者)

原 潔 (一般社団法人交通環境整備ネットワーク代表理事)

4. 審査結果

賞	名前	題名	住所	撮影箇所	年齢
国土交通省 鉄道局長賞	さき ひろみつ 佐々木博光	つぶやき	青森県	津軽鉄道 毘沙門・嘉瀬	70
鉄博賞	なんばしげおり 難波秀織	水墨画	東京都	JR 奥羽線 井川さくら・羽後飯塚	19
米屋こうじ賞	ながまつちなみ 永松千菜美	旅先セレンディピティ	福岡県	JR 山陽線 尾道駅付近	28
水無田気流賞	たに ありさ 谷 有紗	抜錨	神奈川県	江ノ島電鉄 鎌倉高校前・七里ヶ浜	17
エコトラン賞 (入選)	ちばけいいち 千葉恵一	ひまわり畠	宮城県	JR 釜石線 平倉・足ヶ瀬	63
	たけした あきら 竹下 朗	私が運転手	島根県	一畠電車 出雲大社前駅	64
	すながまさひろ 須永真弘	自然と汽車	埼玉県	小湊鉄道 上総大久保駅	24
	こち わたくみ 小知和拓海	時代と記憶	神奈川県	京浜急行 久里浜工場	19
	つばいしうじ 坪井庄治	公園の汽車	東京都	昭和公園 (昭島市)	78
	まるやまともお 丸山朋夫	電車でトリップ、小さな散歩	神奈川県	京浜急行 神奈川新町駅付近	63
	なりたみか 成田美香	どこかに	東京都	JR 東京駅	52
	たけしたゆうせい 竹下雄惺	夜の帳が下りる前に	東京都	京阪電鉄 龍谷大前深草駅付近	13

5. 作品展の開催

表彰作品については以下のとおり作品展等を開催しました。

○鉄道博物館 (さいたま市) 2022年11月9日 (水)～2022年11月28日 (月)

○日本現代詩歌文学館 (岩手県北上市) 2022年11月5日 (土)～2022年11月30日 (水)

○東武博物館 (東京都墨田区) 2022年12月20日 (火)～2023年2月24日 (金)

6. 作品集ほか

入賞作品集を作成 (A4二つ折り) し、展示会等で配布。

入賞作品を使用した2023年度カレンダーを作成。Webで公開。

③環境活動フェス 2022への出展

期日: 2022年11月12日 (土) から11月14日 (月)

9:00～21:00 (最終日は17:00まで)

場所: 中央区立環境情報センター (中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン6階)

会場内のブースでは、「鉄道はエコ、鉄道でエコ、エコトラン」の標語とともに、環境に対する鉄道の優位性をパネルとデジタルサイネージにより発信しました。

④グリーン・インフラ官民連携プラットフォームへの参加

自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりや地域づくりを進めるグリーン・インフラに関する取組みの審査に会員として参加しました。

(2) 後援・協力等の活動

東北福祉大学・鉄道交流ステーション主催第39回企画展「大回りで行くやさしい鉄道探検隊」の後援、日刊工業新聞社事務局「グリーンインフラ産業展2023」の協賛、みなとメディアミュージアム実行委員会主催「みなとメディアミュージアム」の後援を行いました。

3. 安全対策・支援事業

鉄道の地域連携、環境改善をテーマに地域鉄道技術安全懇話会メンバーによるJR東海のHC85系の視察並びにJR東海との意見交換を2023年1月18日に行いました。

4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

(1) インターネットによる情報発信

①ホームページ

インターネットサイト <https://ecotran.or.jp/> で情報を発信しました。

②メールによる鉄道関係情報等の配信

鉄道等の地域交通関係諸情報を収集するとともに会員あてメールで配信を行いました。

本内容は、過去分も含めてホームページ (<https://ecotran.or.jp/act/info/info.html>) で確認できます。

(2) 会報『地域交通を考える』の発行

交通環境の調査研究論文及び諸情報をまとめた会報「地域鉄道を考える」第14号を2022年11月に発行しました。一般頒布は、ネットからの受付と共に東京神田神保町「書泉グランデ」での委託販売を行いました。

本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）のJ-DreamⅢ、J-GLOBAL等の科学技術文献データベースに収録され、「日本の論文をさがす」CiNii Articles (<https://ci.nii.ac.jp>)において「交通環境整備ネットワーク」、あるいは「地域交通を考える」で著者等の検索が可能です。

(3) ecotran叢書『鉄道あれこれ』の発行

当法人会員で審議役の平野雄司著の『鉄道あれこれ』を2022年11月に発行しました。

一般には、990円（税込み）で発売し、会員には書引特価500円（税・送料込）で頒布をさせていただいています。

(4) 中央区立環境情報センターからの情報発信

中央区環境情報センター主催の環境活動フェス2022に出展し、当法人の情報発信を行いました。

5. 法人のうごき

(1) 定時社員総会

日時 2022年（令和4年）6月11日（土） 11時00分～11時35分

場所 東武博物館ホール

出席社員数（委任状・事前議決権行使済みの者を含む） 74名（総社員数129）

報告・承認事項

1. 2021年度事業報告の件

2. 2021年度決算報告の件

3. 2022年度事業計画の件

4. 2022年度収支予算書の件

2021年度事業報告の件及び2021年度決算報告の件については原潔理事から内容を説明後、監事を代表して小島好己監事からの正しく事実と認める旨の監査報告が示された。

続いて2022年度事業計画の件、2022年度収支予算書の件について斎藤実理事から説明を行い、以上の件を諮ったところ満場一致で一括承認がなされた。

終わりに、本年から小倉沙耶氏と平田一彦氏両名に審議役に就任をいたいたいた旨の紹介がなされた。

(2) 理事会

①2022年6月11日（土） 東武博物館

総会・地域鉄道フォーラム開催作業手順の確認について、作業手順の最終確認、鉄道写真詩コンテストの開催について、本年より新たに「鉄博賞」を設けること、これまでの「エコトラン賞」は、入選者に授ける旨説明され、承認された。

②2022年10月23日（日） オンライン

鉄道写真詩コンテスト2022開催結果、会報『地域交通を考える』の発行、ecotran叢書の発行、地域鉄道フォーラム2023の開催について、その他

③2023年3月26日（日） オンライン

定時総会議案書について、地域鉄道フォーラム2023、鉄道写真詩コンテスト2023の開催について、その他

(3) 会員数

2023年3月31日現在 個人会員 130名 法人会員 5名

会費の納入のお願い

2023年度（2023年4月～2024年3月）の年会費を、次の口座まで納入をお願いいたします。

○郵便振替

口座番号 00170-6-546398

口座名称(漢字) 一般社団法人交通環境整備ネットワーク

○銀行等からお振込みされる場合

ゆうちょ銀行(019) 当座 0546398

一般社団法人交通環境整備ネットワークは、皆様の会費で運営されております。

○個人会員

特典

- ・地域鉄道フォーラム等主催イベント開催への優先ご案内
- ・メールにより鉄道、バス等地域交通関係の諸情報の随時配信
- ・会報「地域交通を考える」への論文掲載、同会報の配布、発刊書籍の頒布 等

会費

- | | |
|-----|------------------------------|
| 年会費 | 3,000円 (4月～翌年3月まで有効、途中入会も同額) |
| 入会金 | 2,000円 (入会初年度のみ) |

○法人会員

特典

- 当法人は鉄道行政経験者、鉄道事業経営者、法曹界、学識経験者等幅広い分野のスタッフを有しております。このスタッフを中心として、法人会員に対しては様々な課題に対して相談とアドバイスを行っております。
- ・鉄道事業に係る法律相談受付 ⇒ 弁護士・専門家が相談にお応えします
 - ・鉄道事業に係る安全制度・安全対策アドバイス⇒地域鉄道技術安全懇話会の組織により各種相談にお応えします
 - ・鉄道事業に係る営業制度・営業戦略アドバイス⇒地域鉄道支援事業本部及び地域鉄道支援事業アドバイザーチームが対応いたします
 - ・鉄道事業に係る諸情報の収集及び提供 等
- 相談やアドバイスはすべて無料で、何回でもお気軽にご相談ください。ただし、現地に赴いて具体的対策を講じる等により交通費等の費用が発生する場合には別途相談の上、実費のご負担をお願いさせていただくことがあります。
- ・地域鉄道フォーラム等主催イベント開催への優先ご案内
 - ・メールにより鉄道、バス等地域交通関係の諸情報の随時配信
 - ・会報「地域交通を考える」への論文掲載、同会報の配布、発刊書籍の頒布 等

会費

- | | |
|-----|-------------------------------------------|
| 年会費 | 48,000円 (4月～翌年3月まで、途中入会の場合は月額4,000円で残月数分) |
| 入会金 | 2,000円 (入会初年度のみ) |

2022年度 決算報告書

第14期： 2022年4月1日～ 2023年3月31日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

収支計算書
第14期：2022年4月1日～2023年3月31日

単位：円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引消去	合計b		
1. 事業活動収支							
(1) 事業活動収入							
①受取入会金	10,000	12,000			12,000	△ 2,000	
②受取年会費	600,000	611,000			611,000	△ 11,000	
③事業収益	100,000		12,990		12,990	87,010	
④受取寄付金	120,000	140,000			140,000	△ 20,000	(*)
⑤雑収入等	5,000	19,826			19,826	△ 14,826	
⑥他会計からの繰入額	0	0	133,099		133,099	△ 133,099	
事業活動収入計	835,000	782,826	146,089	0	928,915	△ 93,915	
(2) 事業活動支出					0		
①事業費支出	510,000	451,897	76,089	0	527,986	△ 17,986	
②管理費支出	315,000	213,738	70,000	0	283,738	31,262	
③他会計への繰出額	0	133,099	0		133,099	△ 133,099	
事業活動支出計	825,000	798,734	146,089	0	944,823	△ 119,823	
事業活動収支差額	10,000	△ 15,908	0	0	△ 15,908	25,908	
2. 投資活動収支							
(1) 投資活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 投資活動支出	0	0	0	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
3. 財務活動収支							
(1) 財務活動収入	0	0	0	0	0	0	
(2) 財務活動支出	0	0	0	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	
4. 予備費支出	10,000	0	0	0	0	10,000	
当期収支差額	0	△ 15,908	0		△ 15,908	15,908	
前期繰越収支差額	706,814	663,965	42,849		706,814	0	
次期繰越収支差額	706,814	648,057	42,849		690,906	15,908	

消費税等の会計処理は、税込方式による。

(*)受取寄付金

関東交通印刷(株)様	100,000 円
交通新聞社・旅の手帖様	20,000 円
鉄道博物館様	20,000 円

事業活動支出の内訳

単位:円

科 目	予算額 a	決 算 額				差異 a-b	備 考
		一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計b		
1. 事業費							
(1)地域鉄道フォーラム等の開催	80,000	52,548			52,548	27,452	
(2)鉄道写真詩コンテストの開催	300,000	280,909			280,909	19,091	
(3)会報の作成	100,000	118,440			118,440	△ 18,440	
(4)地域鉄道支援	30,000		76,089		76,089	△ 46,089	
事業費計	510,000	451,897	76,089		527,986	△ 17,986	
2. 管理費							
(1)旅費交通費	5,000	0			0	5,000	
(2)通信費	99,000	90,849			90,849	8,151	郵便、HP等
(3)諸会費	10,000	1,375			1,375	8,625	
(4)会議費	10,000	0			0	10,000	
(5)印刷製本費	5,000	8,360			8,360	△ 3,360	
(6)賃借料	70,000	67,320			67,320	2,680	事務所
(7)事務用消耗品費	30,000	37,375			37,375	△ 7,375	
(8)新聞図書費	1,000	0			0	1,000	
(9)委託費	0	0			0	0	
(10)租税公課	80,000	0	70,000		70,000	10,000	法人税等
(11)雑費	5,000	8,459			8,459	△ 3,459	振込手数料等(*)
管理費計	315,000	213,738	70,000		283,738	31,262	
3. 他会計への繰出額		0	133,099		133,099	△ 133,099	
事業活動費計	825,000	798,734	146,089		944,823	△ 119,823	

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲 資金の範囲は、現金預金額の範囲内
2. 次期繰越収支差額に含まれる資産および負債の内訳

単位:円		
科 目	前期末残高	当期末残高
現金・預金	802,814	800,906
未収入金	0	0
前払費用	0	0
立替金	0	0
資産 a	802,814	800,906
短期借入金	0	0
未払費用	0	0
未払金	70,000	70,000
預り金	0	0
前受金	26,000	40,000
負債 b	96,000	110,000
繰越収支差額 a-b	706,814	690,906

貸借対照表

2021年3月31日現在

単位:円

科 目	当 年 度				前年度 b	増減 a-b	備 考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
1. 資産の部							
(1) 流動資産							
現金預金	688,057	112,849		800,906	802,814	△ 1,908	
未収入金				0	0	0	
前払費用				0	0	0	
立替金				0	0	0	
流動資産合計	688,057	112,849		800,906	802,814	△ 1,908	
(2) 固定資産							
什器備品	0	0		0	0	0	
固定資産合計	0	0		0	0	0	
資産合計	688,057	112,849		800,906	802,814	△ 1,908	
2. 負債の部							
(1) 流動負債							
短期借入金	0	0		0	0	0	
未払費用				0	0	0	
未払金		70,000		70,000	70,000	0	法人税等
預り金				0	0	0	
前受金	40,000	0		40,000	26,000	14,000	会費前受け
負債合計	40,000	70,000		110,000	96,000	14,000	
3. 正味財産の部							
基金	700,000	0		700,000	700,000	0	
一般正味財産	△ 51,943	42,849		△ 9,094	6,814	△ 15,908	
正味財産合計	648,057	42,849		690,906	706,814	△ 15,908	
負債及び正味財産合計	688,057	112,849		800,906	802,814	△ 1,908	

正味財産増減計算書

第14期: 2022年4月1日～ 2023年3月31日

単位:円

科 目	当 年 度				前年度 b	増減 a-b	備 考
	一般会計	収益事業	内部取引 消去	合計 a			
I 基金増減の部							
基金期首残高	700,000			700,000	700,000	0	
基金期末残高	700,000			700,000	700,000	0	
II 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受取入会金	12,000	0		12,000	4,000	8,000	
受取年会費	611,000	0		611,000	616,000	△ 5,000	
事業収益	0	12,990		12,990	0	12,990	
受取寄付金	140,000	0		140,000	124,000	16,000	
雑収入等	19,826	0		19,826	10,405	9,421	
他会計からの繰入額	0	133,099		133,099	70,000	63,099	
経常収益合計	782,826	146,089		928,915	824,405	104,510	
(2) 経常費用							
事業費	451,897	76,089		527,986	440,065	87,921	
管理費	213,738	70,000		283,738	291,294	△ 7,556	
他会計への繰出額	133,099	0		133,099	70,000	63,099	
経常費用計	798,734	146,089		944,823	801,359	143,464	
当期経常増減額	△ 15,908	0		△ 15,908	23,046	△ 38,954	
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0		0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0		0	0	0	
当期経常外増減額	0	0		0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 15,908	0		△ 15,908	23,046	△ 38,954	
一般正味財産期首残高	△ 36,035	42,849		6,814	△ 16,232	23,046	
一般正味財産期末残高	△ 51,943	42,849		△ 9,094	6,814	△ 15,908	
正味財産合計	648,057	42,849		690,906	706,814	△ 15,908	

財務諸表に対する注記

重要な会計指針

- 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日・改正平成21年10月16日付け内閣府公益認定等委員会)に準拠しています。
- 消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2023 年 4 月 14 日

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク
代表理事 原 潔 様

一般社団法人 交通環境整備ネットワーク

小 島 好 己 
入 江 聰 

第14期： 2022年4月1日～ 2023年3月31日

監 査 報 告 書

私は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第14期会計年度における会計及び業務の監査を行い、その結果を次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査は、帳簿並びに関係書類の整合閲覧により、決算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査は、理事会及びその他の会議に出席し、必要と思われる事項について理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧等により業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 財務諸表及び収支計算書は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財務状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書の内容は、事実と認める。

以上

2023年度 事業計画

一般社団法人交通環境整備ネットワーク

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染法上の分類変更に伴って、人々の自由な移動による交通需要の増大が期待されます。移動の自粛により疲弊した地域交通を立て直し、利便性を高めることにより人々の交流を促し、地域の活性化やコミュニティの創造と豊かな交通文化が増進することを願って、以下の諸活動を展開します。

1. 交通環境の調査研究

地域鉄道、都市鉄道、幹線鉄道、バス等の交通環境に関する諸情報を収集し、その歴史的背景や運営方策、需要動向等、交通環境全般にわたる調査研究を行います。

調査研究の成果については会報『地域交通を考える』等を通じて広く公表を行います。

2. 交通環境の整備

環境負荷が小さく、より良い交通環境の整備を進めていくためには、今ある地域交通の状況を広く多くの方に知っていただく必要があります。

そのため、地域鉄道フォーラムの開催を計画するとともに、鉄道の魅力とその旅の楽しさを発信するために、鉄道写真詩コンテストを開催します。

（1）地域鉄道フォーラム「地域と鉄道」の開催

期 日：2023年6月10日（土）13:00～15:10

開催場所：東武博物館ホール

鉄道は地域と共に発展をしてきました。しかし、人口の減少期を迎えて、鉄道沿線の地域の活力に陰りが生じて駅前市街地の賑わいが失われ、運営に赤信号が灯る鉄道線区が全国に点在しています。

地域鉄道フォーラムでは、2016年に「地域鉄道の価値を考える」をテーマに論じていただきました。今回は、「地域と鉄道」をテーマに、鉄道の価値とは何かを再度問い合わせ、地域戦略のツールとしての鉄道の可能性を論じていただきます。

プログラム

- | | |
|--------------------------------------|--------|
| 1. 来賓あいさつ 国土交通省鉄道局鉄道事業課長 田口芳郎氏 | |
| 2. 基調講演 「地域と鉄道」 富山大学都市デザイン学部教授 金山洋一氏 | |
| 3. トークセッション「鉄道の価値・可能性」 | |
| コーディネーター／関西大学経済学部教授 | 宇都宮淨人氏 |
| 富山大学都市デザイン学部教授 | 金山洋一氏 |
| 流通経済大学経済学部教授 | 板谷和也氏 |
| ひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長 | 吉田千秋氏 |

（2）鉄道写真詩コンテスト2023の開催

鉄道写真詩とは、「鉄道写真」に「詩」を組み合わせて鉄道の魅力やその旅情を表現する新たな芸術活動です。

本コンテストは、その登竜門としての役割を担うもので、2017年より毎年開催をし、本年度7回目となります。

コンテストの概要

- 写真の撮影及び詩作は同一人であって、未発表のものに限ります。
- 応募点数は一人3点までとします。
- 写真は、鉄道を題材としたものであって単写真に限ります（組写真は不可）。銀塩写真、デジタル写真の別、カラー、モノクロの別は問いません。画像ファイルは、JPEG形式とし、ファイルサイズは5MB以内（大きい画像は5MB以内に圧縮）とします。
- 詩は、自由詩、散文詩のいずれも可。一行詩から、20行未満の詩であって、20字

×20行=400字以内とします。

表彰 入賞

国土交通省鉄道局長賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

鉄博賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

米屋こうじ賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

水無田気流賞（表彰状及び副賞 20,000 円ギフトカード）

エコトラン賞（若干数、表彰状及び副賞 10,000 円ギフトカード）

作品募集期間 自 2023年7月1日

至 2023年9月30日

受賞作品の発表 2023年10月31日

受賞作品の展示（予定） 東武博物館・鉄道博物館・日本現代詩歌文学館

このほかセミナートレイン等の開催を検討すると共に、国、地方公共団体、大学、鉄道会社等の交通環境整備に資する諸活動への参加、後援及び協力を行います。

3. 地域鉄道支援事業

地域鉄道に対して法律相談や安全対策等の支援を行います。

4. 交通環境にかかる提言、出版並びに情報発信

（1）インターネットによる情報発信

インターネットホームページ <https://ecotran.or.jp/>を使って鉄道の魅力をはじめ様々な情報発信を行うとともに、鉄道諸情報等を収集し、会員へのメールによる情報配信を行います。

（2）会報『地域交通を考える』の発行

交通環境調査研究の成果及び地域鉄道等の諸情報をまとめた会報『地域交通を考える』第15号を発行します。発行は、11月を予定しています。

本誌は、国立研究開発法人科学技術振興機構において科学技術情報誌に認定されており、掲載論考は国の文献データベースに登載されます。J-GLOBAL (<https://jglobal.jst.go.jp/>)、J-DreamIII (<https://jdream3.com/>)、CiNii Articles (<https://ci.nii.ac.jp>) で検索ができます。

（3）中央区立環境情報センターからの情報発信

中央区立環境情報センターを利用して、交通環境に関する情報を発信していきます。

2023年度 収支予算書

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業活動収支					
(1) 事業活動収入					
①受取入会金	10,000			10,000	10,000
②受取年会費	600,000			600,000	600,000
③事業収益		100,000		100,000	100,000
④受取寄付金(協賛金)	120,000			120,000	120,000
⑤雑収入等	5,000			5,000	5,000
⑥他会計からの繰入額	0	0		0	0
事業活動収入計	735,000	100,000		835,000	835,000
(2) 事業活動支出					0
①事業費支出	480,000	30,000		510,000	510,000
②管理費支出	245,000	70,000		315,000	315,000
③他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動支出計	725,000	100,000		825,000	825,000
事業活動収支差額	10,000	0		10,000	10,000
2. 投資活動収支					
(1) 投資活動収入	0	0		0	0
(2) 投資活動支出	0	0		0	0
投資活動収支差額	0	0		0	0
3. 財務活動収支					
(1) 財務活動収入	0	0		0	0
(2) 財務活動支出	0	0		0	0
財務活動収支差額	0	0		0	0
4. 予備費支出	10,000	0		10,000	10,000
当期収支差額	0	0		0	0
前期繰越収支差額	648,057	42,849		690,906	706,814
次期繰越収支差額	648,057	42,849		690,906	706,814

事業活動支出の内訳

単位:円

項目	一般会計	収益事業	内部取引消去	当年度予算額合計	前年度予算額合計
1. 事業費					
(1) 地域鉄道フォーラム等の開催	80,000			80,000	80,000
(2) 鉄道写真詩コンテストの開催	300,000			300,000	300,000
(3) 会報の作成	100,000			100,000	100,000
(4) 地域鉄道支援事業		30,000		30,000	30,000
事業費計	480,000	30,000		510,000	510,000
2. 管理費					
(1) 旅費交通費	5,000			5,000	5,000
(2) 通信費	99,000			99,000	99,000
(3) 諸会費	10,000			10,000	10,000
(4) 会議費	10,000			10,000	10,000
(5) 印刷製本費	5,000			5,000	5,000
(6) 貨借料	70,000			70,000	70,000
(7) 事務用消耗品費	30,000			30,000	30,000
(8) 新聞図書費	1,000			1,000	1,000
(9) 委託費	0			0	0
(10) 租税公課	10,000	70,000		80,000	80,000
(11) 雜費	5,000			5,000	5,000
管理費計	245,000	70,000		315,000	315,000
3. 他会計への繰出額	0	0		0	0
事業活動費計	725,000	100,000		825,000	825,000

第1号議案 理事選任の件

現在理事を務める候補番号1から8は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので再選任を、9から10は、新任選任をお願いします。なお、齋藤実理事、唐崎好彦理事は、本総会をもって退任いたします。

候補者番号	氏名 (生年月日)	略歴
1	原潔 (昭和23年9月28日)	運輸省、国土交通省を経て千葉都市モノレール取締役運輸部長、日本民営鉄道協会総務広報部長、(財)運輸政策研究機構運輸政策研究所研究員を務める。鉄道史学会会員。平成21年3月より当法人専務理事、平成27年より代表理事(現在)
2	向後功作 (昭和38年2月5日)	銚子電気鉄道次長、銚子市観光プロデューサー等を経て、LLC Harmony代表。総務省地域力創造アドバイザー、関東運輸局地域公共交通マイスター、放送大学非常勤講師を務める。平成21年3月より当法人常務理事、令和元年より理事(現在)
3	吉田千秋 (昭和39年11月24日)	富山地方鉄道、万葉線株式会社を経て、2008年4月よりひたちなか海浜鉄道株式会社取締役社長。関東運輸局地域公共交通マイスターを務める。平成21年3月 当法人理事、平成22年7月より常務理事(現在)
4	田中人 (昭和43年6月23日)	山陽学園大学地域マネジメント学部准教授並びに慶應義塾大学非常勤講師。社会学者、社会哲学者(現代コミュニティ論・まちづくり論など)。平成21年3月より当法人理事(現在)
5	藤本昌弘 (昭和44年4月19日)	鉄道等の乗車券全般にわたるデザインと硬券印刷を手がけると共に鉄道関連グッズの開発、発売によって地域鉄道の支援を行う。関東交通印刷株式会社代表取締役。平成25年6月より当法人理事、令和元年より地域鉄道支援事業本部長を兼務(現在)
6	山口禎一 (昭和28年1月18日)	「航空・鉄道事故調査委員会鉄道事故調査官、北海道運輸局・北陸信越運輸局で鉄道部長、鉄道・運輸機構鉄道助成部担当部長、小田急電鉄安全・技術部担当部長等を経て(一財)休暇村協会。平成28年8月より当法人審議役、令和元年より常務理事(現在)
7	瀧谷房子 (昭和31年6月4日)	津軽鉄道(株)入社後総務及び経理、企画部門を担当、管理・企画グループを統括する執行役員を経て、現在同社顧問。平成23年4月より当法人審議役、令和元年より理事(現在)
8	上岡佳子(関西佳子) (昭和38年1月21日)	野村證券を経て、水間鉄道にシステムエンジニアとして入社。同社総務部長を経て社長、会長を歴任。平成28年12月より当法人審議役、令和元年より理事(現在)
9	大熊昭 (昭和30年10月11日)	運輸省、国土交通省の政策部門において観光や統計、白書作成、行政の情報化、公共交通のバリアフリー化等に携わる。公益法人交通エコロジー・モビリティ財団、一般社団法人日本地下鉄協会を歴任。平成27年1月より当法人審議役(現在)
10	湯田豊人 (昭和29年1月15日)	国土交通省鉄道局首席鉄道安全監察官、関東運輸局鉄道部次長、中部運輸局鉄道部長、京王電鉄株式会社鉄道事業本部、交通安全環境研究所を経て(一社)日本鉄道運転協会安全企画部長。令和元年3月より当法人審議役(現在)

第2号議案 監事選任の件

監事1名の選任をお願いします。

当法人の監事は任期4年となっており、小島好己監事と入江聰監事との2名体制で執行しておりますが、入江聰監事が任期満了となりますので再選任をお願いします。

氏名 (生年月日)	略歴
入江聰 (昭和40年3月1日)	船橋市役所入所後、同市建設局等において地方行政に従事。技術士(建設部門 都市及び地方計画)、総合旅行業務取扱管理者。平成27年6月より当法人監事(現在)